

大島公園での鳥類展示再開について

大島公園では、飼育鳥類への鳥インフルエンザ感染予防のため、鳥類の展示を一部中止していましたが、この度、展示を再開することとなりましたのでお知らせします。

1. 展示を再開する施設および飼育動物

(1) フライングケージ

ショウジョウトキ、クロトキ、ヨーロッパフラミンゴ、サカツラガン、ハワイガン、マガモ、オシドリ、アカツクシガモ、オナガガモ、キンクロハジロ、オオバン、カラスバト、インドクジャク、マナヅル、パルマワラビー、カピバラ、トウホクノウサギ

(2) インコ舎

ルリコンゴウインコ、オオハナインコ、ヤマヒメコンゴウインコ、インカアジサシ、ニシムラサキエボシドリ、オオコノハズク

- * ゾウガメ舎のオオハナインコは、ゾウガメ舎改修工事のため引き続き展示中止となります。

2. 展示再開の経緯について

平成 30 年 1 月 5 日に東京都内で死亡・回収された野鳥から高病原性鳥インフルエンザウイルスが確認され、大島公園では飼育鳥類への感染予防のため鳥類の展示を一部中止するなどの対策を取ってきました。

これまでのところ、環境省による野鳥監視重点区域の監視において異常は認められず、指定は解除(平成 30 年 2 月 5 日、同省発表)となりました。これを受け、大島公園では鳥類の展示を再開する運びとなりました。

なお、これまでに引き続き、入園門には消毒用マットを設置しています。消毒マットを踏んで靴裏を消毒してから園内にお入りください。

ご理解とご協力をお願いいたします。

